

日高川河川敷利活用に関するサウンディング調査の結果概要

1. 調査概要

現在、供用開始を行っております「日高川ふれあい水辺公園」ですが、左岸側のオートキャンプ場、ゲートボール場、せせらぎ広場、ミニゴルフ場、それから右岸側の多目的グラウンドは整備され供用開始を行っておりますが、それより下流の新野口橋までの約3ヘクタールが未整備のままであります。

しかしながら、右岸側は毎年のように増水により被害に遭い時間をかけて災害復旧事業を行っている事を鑑みますと、このエリアは民間事業者のアイデアや、災害にあって水に浸かって安価で時間を掛けずに直ぐに供用開始の出来る方法があるのではないかという事で、民間事業者様の利活用の可能性を伺うサウンディング調査を行う事となりました。

2. 調査の経過

実施要領の公表	令和3年8月24日（火）
参加受付	令和3年9月6日（月）～9月24日（金）
調査実施	令和3年10月7日（木）

3. 参加状況

参加事業者：3団体

4. 対話の概要

体験型観光を目的としたアウトドアストリートスポーツパークという利活用のコンセプトであり、修学旅行生にも体験していただける若者向けのメニューを多数提案していただきました。

又、公式グラウンド・ゴルフ場整備による、地域おこし街づくりの提案がありました。

5. 今後の対応

今回の対話でいただいた意見を参考に、事業者の公募実施の可否も含め、事業内容・河川の制限・地元との調整・費用負担等の諸条件等を整理し、河川敷利活用方針を検討いたします。